

ANTENNA

第2回全統高1模試

全国106,882名の高1生が参加して実施された第2回全統高1模試の成績結果と学習アドバイスをお届けします。

今回の模試では、夏休みの学習結果の確認と、基本事項の理解度を試すことを目的としました。

『学習の手引き』や本冊子を活用して、誤答箇所を再確認し、成績状況を把握してより効果的な学習を進めてください。今の実力をさらに伸ばすよう、早めに目標を定めて着実に学習を重ねてください。

《次回実施のご案内》

次回全統模試のご案内につきましては、こちらをご確認ください。

www.kawai-juku.ac.jp/zento/

スマートフォンの方はこちら



も く じ

《全統模試見直しシート》	2
《これが今回の模試の結果だ》	
個人成績表の見方	3
・あなたの成績と比較しよう	
総合成績表・科目別成績表	5
・どの設問で差がついたか確認しよう	
教科科目別設問別成績表	6
小問(単位問)別平均点	7
《弱点克服のためにもう一度見直そう》	
学習対策	9
英語	9
数学	9
国語	10
《採点に関する問い合わせについて》	11
《お問い合わせ先一覧》	13

※本冊子の編集内容の無断転載・複製を禁止します。

全統模試 見直しシート

STEP 1

個人成績表「1. 成績概況」を確認し、受験した教科・科目と偏差値を書き込みましょう。

STEP 2

個人成績表「2. 設問別成績」の、あなたと同じ学力レベル層や、第1志望校の一段階上の判定者との成績比較で差がついた設問を確認し、弱点となっている分野を書き込みましょう。

STEP 3

弱点分野を中心に、「学習の手引き」や本冊子の「学習対策」、模試ナビの解説講義動画などを確認し、今回の模試の反省点と、今後の具体的な対策（何を、いつまでにやるのか）を書き込みましょう。

STEP 4

個人成績表「3. 志望校別成績・評価」を参考に、次回の模試の目標得点を書き込みましょう。

STEP 1		STEP 2	STEP 3		STEP 4
教科・科目	偏差値	弱点分野	今回の反省点	今後の対策	次回の目標得点
(例) 英語	52.1	文法・語法	基本的な文法の理解ができていない	次回の模試までに文法集の11～30ページをノートにまとめて復習する	55.0



河合塾 全統模試学習ナビゲーター



模試ナビは、Web上で全統模試の復習や成績確認などができるサービスです

利用料無料



河合塾講師によるわかりやすい解説講義動画が視聴可能！
間違えた問題は必ずチェックして理解を深めよう。



詳しい学習アドバイスやライバルとの差をつける追加問題など、模試ナビだけのコンテンツも多数閲覧できます。

詳しくはこちらから
www.kawai-juku.ac.jp/zento/moshi-navi/

個人成績表の見方

各項目について、詳しくはP.4をご確認ください。

1. 成績概況

自分の学力状況や全国での位置づけを確認しましょう

- 各科目の得点や偏差値、順位、平均点などを表示しています。

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位	平均点	偏差値	平均点	順位
英語	165 / 200	72.3	S	87.3	2398 / 114516	93.4	417 / 10188	68.9	103.0
総合	111 / 200	57.1	B	84.1	29576 / 113971	80.8	2470 / 9942	65.2	21 / 220
数学	80 / 150	55.7	B	63.0	33979 / 113971	60.4	2769 / 9942	62.9	49.1 / 27 / 220
必須問題	31 / 50	58.7	B	21.2	24702 / 113513	20.5	2229 / 9889	66.5	13.5 / 20 / 219

全統高1模試 個人成績表 第1面【秘】

教科・科目	あなたの得点	偏差値	学力レベル	平均点	順位	平均点	偏差値	平均点	順位
英語	165 / 200	72.3	S	87.3	2398 / 114516	93.4	417 / 10188	68.9	103.0
総合	111 / 200	57.1	B	84.1	29576 / 113971	80.8	2470 / 9942	65.2	21 / 220
数学	80 / 150	55.7	B	63.0	33979 / 113971	60.4	2769 / 9942	62.9	49.1 / 27 / 220
必須問題	31 / 50	58.7	B	21.2	24702 / 113513	20.5	2229 / 9889	66.5	13.5 / 20 / 219

設問別成績	あなたの得点	偏差値	平均点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較
1 リスニング	17 / 20	7.5	8.7	13.0	4.0
2 読みの理解	12 / 20	7.8	8.7	13.8	-1.8
3 文法	22 / 30	12.3	3.1	21.3	0.7
4 英作文	33 / 40	18.3	22.8	32.9	0.1
5 長文総合読解	45 / 50	24.1	29.7	43.2	1.8
6 長文総合読解	36 / 40	17.7	19.8	32.4	3.6

設問別成績	あなたの得点	偏差値	平均点	校内平均点	あなたと同じ学力レベル層との成績比較
1 リスニング	17 / 20	7.5	8.7	13.0	4.0
2 読みの理解	12 / 20	7.8	8.7	13.8	-1.8
3 文法	22 / 30	12.3	3.1	21.3	0.7
4 英作文	33 / 40	18.3	22.8	32.9	0.1
5 長文総合読解	45 / 50	24.1	29.7	43.2	1.8
6 長文総合読解	36 / 40	17.7	19.8	32.4	3.6

2. 設問別成績

分野ごとの成績や、どの分野でライバルと差があったのかを確認しましょう

- 各科目の設問別の成績や、成績を基にした学習アドバイスを表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均点とあなたの得点を比較して、最も良かった設問に○、悪かった設問に▲を表示しています。
- 第1志望について、あなたの評価より一段階上の判定者との成績比較を表示しています。

3. 志望校別成績・評価

志望校までの距離やライバルの中での位置づけを確認しましょう

- 志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示しています。
- 評価では、学習到達度の度合いを下の5段階で表示しています。

A: この調子で頑張れば合格圏内 D: まだまだ努力が必要、頑張りましょう。
 B: もうひとふんばりで合格圏内 E: 志望大学へ向けて、まず基本事項の総復習を行いましょう。
 C: これからの努力次第、弱点を克服しましょう。 H: 教科不足による国公立大参考評価

全統高1模試 個人成績表 第2面【秘】

学力要素別成績	あなたの得点率 (%)	全国平均得点率 (%)	校内平均得点率 (%)	平均得点率の差 (%)	あなたと同じ学力レベル層との差 (%)
知識・技能	72.0	40.8	45.5	68.4	3.6
思考力・判断力	64.0	44.1	52.4	79.7	4.3
表現力	68.7	33.8	33.9	50.1	16.6
知識・技能	49.2	34.1	28.8	47.1	2.1
思考力・判断力	45.2	40.3	31.0	60.7	-15.5
表現力	69.4	37.2	22.2	62.3	7.1
知識・技能	75.9	66.1	65.1	76.5	-0.6
思考力・判断力	44.2	35.6	35.2	44.8	-0.6
表現力	47.7	35.1	36.3	43.6	4.1

学力要素別成績	要素の説明	偏差値
1 (5月)	52.8	30
2 (8月)	56.3	40
3 (11月)	55.8	60
4 (1月)	57.1	70

4. 成績推移

学習成果の長期的な推移を確認しましょう

- 今年度の第1~4回全統高1模試の成績推移を表示しています。

5. 学力要素別成績

どの学力要素でライバルとの差があったのか、自身の弱点を確認しましょう

- 教科別・学力要素別の得点率と、全国や校内の平均得点率を表示しています。
- あなたと同じ学力レベル層 (S~Fレベル) の平均得点率と、あなたの得点率を比較できるように表示しています。

個人成績表の見方<注釈>

1. 成績概況

■学カレベルの定義は以下の通りです。

S : 偏差値 65.0 以上	D : 偏差値 45.0 ~ 49.9
A : 偏差値 60.0 ~ 64.9	E : 偏差値 40.0 ~ 44.9
B : 偏差値 55.0 ~ 59.9	F : 偏差値 40.0 未満
C : 偏差値 50.0 ~ 54.9	

■総合1は、1型：英数型、2型：英国型、3型：英数国型の各受験型の母集団での位置づけを示します。「偏差値」は、全受験科目の偏差値の平均値です。

■総合2は、文系または理系別の位置づけを示します。理系・文系の区分けは英数国型生は受験届のマークによります。また、英数型生は理系、英国型生は文系とします。成績は、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を用い、それぞれの全受験者の中での順位および平均点を表示しています。

■校内成績欄の母集団は、在籍高校です。偏差値は母集団が20名以上の場合のみ表示しています。

※校内順位は全国偏差値をもとに順位づけしています。

2. 設問別成績

■第1志望校の一段階上の判定者との成績比較とは、例えばあなたがC判定であれば、B判定者の平均点との比較になります（A判定の場合はA判定者の平均点との比較になります）。母集団は国公立大は出願予定者、私立大は総志望者です。一段階上の判定者が一人もいない場合は表示されません。

3. 志望校別成績・評価

■「学部・学科内の順位」では、志望大学・学部・学科の総志望者の中での、あなたの位置づけを示します。

■「評価偏差値」

国公立大については、英・数・国の3教科の偏差値の平均値を使用しています。

ただし、3教科受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として「H」を付して評価を行います。ただし、順位は表示されません。

私立大・短期大については、学科内容から文・理分けを行い、理系は英・数、文系は英・国の偏差値の平均値を使用します。

ただし、上記の教科を受験していない場合でも、2教科を受験していれば、参考として評価を行います。

※1教科しか受験していない場合は、評価は行わず、順位も表示されません。

■「評価」では、志望大学に合格するために必要な学力がどのくらい身につけているのかの、学習到達度の度合いの「評価」を以下の5段階で表示しています。

- | |
|----------------------------------|
| A : この調子で頑張れば合格圏内 |
| B : もうひとふんばりで合格圏内 |
| C : これからの努力次第、弱点を克服しましょう。 |
| D : まだまだ努力が必要、頑張りましょう。 |
| E : 志望大学へ向けて、まずは基本事項の総復習を行きましょう。 |
| H : 教科不足による国公立大参考評価。 |

詳しくはこちらの該当模試のページからご確認ください。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/



4. 成績推移

■今年度の第1～4回全統高1模試の各教科・英数国の総合成績の偏差値を棒グラフで表示しています。学力伸長度・学習成果の長期的な変化を確認できます。今後の学習対策に役立ててください。

5. 学力要素別成績

■今回の模試で出題された各問題が主にどんな学力を問うているのかを、学力を「知識・技能」「思考力・判断力」「表現力」の3要素に分類し、学力要素ごとの成績（得点率）を表示しています。選択問題が出題されている場合は、選択パターンごとに集計しています。

◆総合成績表 受験者総数 106,882名

英数(理系)、英国(文系)は、文理別の全受験者を母集団としています。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英数型	400	165.6	-----	49.9	334	27	634
英国型	400	135.9	-----	46.1	329	34	441
英数国型	600	252.4	-----	50.0	596	0	105634
英数	400	178.9	-----	51.7	400	3	57950
英国	400	154.7	-----	49.4	363	0	48759

※全国の受験者の中での位置を教科・科目別／志望別に確認できる「教科科目別成績順位表」「受験型別総合偏差値順位表」や、選択した志望校以外の大学・学部・学科の二次試験・一般試験の合格可能性が確認できる「合格可能性評価基準一覧」を、河合塾ホームページに掲載しています。
www.kawai-juku.ac.jp/zento/statistics/

スマートフォンの方は
こちら



◆科目別成績表

この模試に何人参加し、平均点はどれくらいであったのか、自分の成績は平均点よりどれほど差があったのか、また最高点はどれくらいあったのかを教科・科目別に読みとれます。自分の結果と照らし合わせ、攻略すべき教科・科目を確認してください。

	配点	平均点	標準偏差	平均偏差値	最高点	最低点	人数
英語	200	73.1	33.3	50.0	200	0	106734
数学	200	93.5	37.5	50.0	200	0	106383
数学必須	150	74.9	30.3	50.0	150	0	106383
数学選択	50	18.7	9.4	50.0	50	0	105888
国語	200	85.6	26.0	50.0	196	0	106156
現代文	110	53.4	15.9	50.0	107	0	106156
古文必須	50	17.6	7.2	50.0	50	0	106156
古漢選択	40	14.6	9.2	50.0	40	0	106156

◆教科科目別設問別成績表

設問ごとの平均点はどれくらいであったか、自分の成績と比べ、平均点との差に注目してください。
その結果から、弱点分野を確認し、今後の学習に役立ててください。

英 語

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	73.1	33.3	200	0	106734
1	リスニング	30	11.3	6.0	30	0	106734
2	語い・熟語	20	7.1	4.2	20	0	106734
3	文法	30	11.1	5.9	30	0	106734
4	英作文	30	12.3	7.8	30	0	106734
5	記述式長文総合読解問題	50	13.1	9.6	50	0	106734
6	客観式長文総合読解問題	40	18.2	9.4	40	0	106734

国 語 *国語の①・②・③は、必須問題です。④・⑤は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	85.6	26.0	196	0	106156
1	現代文（評論の読解）	60	25.5	10.4	60	0	106156
2	現代文（小説の読解）	50	27.8	8.6	50	0	106156
3	古文（説話の読解）	50	17.6	7.2	50	0	106156
4	漢文（文章の読解）	40	15.9	9.4	40	0	77162
5	古文（随筆の読解）	40	11.3	7.5	40	0	28994

数 学 *数学の①・②・③は、必須問題です。④・⑤は、選択問題です。

設問	設 問 内 容	配点	平均点 全 体	標 準 偏 差	最高点	最低点	人 数 全 体
トータル		200	93.5	37.5	200	0	106383
1	数学 I 小問集合	40	24.9	8.5	40	0	106383
2	数学 I 数と式・集合と命題	60	34.8	12.2	60	0	106383
3	数学 I 2次関数	50	15.2	15.0	50	0	106383
4	数学 I 2次関数	50	20.2	9.1	50	0	65368
5	数学 A 場合の数	50	16.3	9.4	50	0	40520

小問（単位問）別平均点＜英 語＞

英 語

受験者数： 106734 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	リスニング	30	11.3	1. A (1) (a)	2	0.2	○						
				1. A (1) (b)	2	1.5	○						
				1. A (2) (a)	2	0.1	○						
				1. A (2) (b)	2	0.1	○						
				1. A (2) (c)	2	1.3	○						
				1. B (1)	4	0.8		○					
				1. B (2)	4	1.5		○					
				1. B (3)	4	1.3		○					
				1. C (1)	4	2.3		○					
				1. C (2)	4	2.1		○					
				2	語い・熟語	20	7.1	2. A (1)	2	0.9	○		
								2. A (2)	2	0.8	○		
								2. A (3)	2	0.8	○		
2. A (4)	2	0.4	○										
2. A (5)	2	0.4	○										
2. B (1)	2	0.4	○										
2. B (2)	2	0.7	○										
2. B (3)	2	1.4	○										
2. B (4)	2	0.7	○										
2. B (5)	2	0.5	○										
3	文法	30	11.1					3. A (1)	3	1.2	○		
				3. A (2)	3	0.5	○						
				3. A (3)	3	1.6	○						
				3. A (4)	3	2.2	○						
				3. A (5)	3	1.1	○						
				3. A (6)	3	1.4	○						
				3. A (7)	3	2.0	○						
				3. B (1)	3	0.6	○						
				3. B (2)	3	0.3	○						
				3. B (3)	3	0.2	○						
				4	英作文	30	12.3	4. A (1)	3	1.1	○		
								4. A (2)	3	2.0	○		
								4. A (3)	3	0.8	○		
4. A (4)	3	1.4	○										
4. A (5)	3	0.8	○										
4. B	8	2.1	○										
4. C	7	4.2						○	○				
5	記述式長文総合読解問題	50	13.1	5. 問1	12	1.7	○						
				5. 問2	5	1.4		○					
				5. 問3	5	2.1		○					
				5. 問4	5	3.3		○					
				5. 問5	10	1.5		○					
				5. 問6	8	1.9	○						
				5. 問7	5	1.3		○					
6	客観式長文総合読解問題	40	18.2	6. A. 問1	5	2.0		○					
				6. A. 問2	5	2.1		○					
				6. A. 問3	5	2.7		○					
				6. A. 問4	5	1.2		○					
				6. A. 問5	5	1.8		○					
				6. B	15	8.4		○					

小問（単位問）別平均点＜数 学＞

数 学

受験者数： 106383 人

設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力				
1	数学 I 小問集合	40	24.9	1 (1) (i) ア	5	4.7	○						
				1 (1) (ii) イ	5	4.5	○						
				1 (2) (i) ウ	5	4.1	○						
				1 (2) (ii) エ	5	1.9	○						
				1 (3) (i) オ	5	4.3	○						
				1 (3) (ii) カ	5	1.4	○						
				1 (4) (i) キ	5	2.9	○						
				1 (4) (ii) ク	5	1.2	○						
				2	数学 I 数と式・集合と命題	60	34.8	2 [1] (1)	5	4.5	○		
								2 [1] (2)	7	5.8	○		
2 [1] (3) i	8	6.2	○										
2 [1] (3) ii	10	1.1						○					
2 [2] (1) i	5	4.5	○										
2 [2] (1) ii	5	3.6	○										
2 [2] (2) i	4	3.1	○										
2 [2] (2) ii	6	4.3	○										
2 [2] (3)	10	1.7						○					
3	数学 I 2次関数	50	15.2					3 (1)	8	4.7	○		
				3 (2) (i)	10	4.5	○						
				3 (2) (ii)	12	4.7	○						
				3 (3)	20	1.4		○					
4	数学 I 2次関数	50	20.2	4 (1) (i)	8	6.9	○						
				4 (1) (ii)	7	5.8	○						
				4 (2)	10	6.1		○					
				4 (3) (i)	10	1.2		○					
				4 (3) (ii)	15	0.2		○					
5	数学 A 場合の数	50	16.3	5 (1) (i)	6	5.6	○						
				5 (1) (ii)	7	5.1	○						
				5 (1) (iii)	7	1.5	○						
				5 (2) (i)	7	2.1		○					
				5 (2) (ii)	11	1.6		○					
5 (2) (iii)	12	0.3		○									

小問（単位問）別平均点＜国 語＞

国 語		受験者数： 106156 人									
設問 No.	設問内容	配点	平均点	小問No.	配点	平均点	知識技能	思考力判断力	表現力		
1	現代文（評論の読解）	60	25.5	1.問1.a	3	1.6	○				
				1.問1.b	3	1.1	○				
				1.問1.c	3	2.0	○				
				1.問2.I	3	0.2	○				
				1.問2.II	3	0.1	○				
				1.問3	5	4.3		○			
				1.問4	5	2.5		○			
				1.問5	8	3.9		○			
				1.問6	5	4.1		○			
1.問7	14	3.0						○			
1.問8	8	2.7					○				
2	現代文（小説の読解）	50	27.8	2.問1.a	2	1.8	○				
				2.問1.b	2	1.9	○				
				2.問2.X	3	0.6	○				
				2.問2.Y	3	1.6	○				
				2.問2.Z	3	1.9	○				
				2.問3	6	4.0		○			
				2.問4	7	5.1		○			
2.問5	12	3.6						○			
2.問6	5	3.5					○				
2.問7	7	3.8					○				
3	古 文（説話の読解）	50	17.6	3.問1.a.1	1	0.9	○				
				3.問1.a.2	1	0.6	○				
				3.問1.a.3	1	0.6	○				
				3.問1.b.1	1	0.9	○				
				3.問1.b.2	1	0.7	○				
				3.問1.b.3	1	0.8	○				
				3.問1.c.1	1	0.8	○				
				3.問1.c.2	1	0.1	○				
				3.問1.c.3	1	0.8	○				
				3.問1.d.1	1	0.6	○				
				3.問1.d.2	1	0.5	○				
				3.問1.d.3	1	0.5	○				
				3.問2	4	0.2		○			
				3.問3	6	0.4		○			○
				3.問4.3	4	3.5	○				
				3.問4.5	4	1.4	○				
3.問4.7	4	1.9	○								
3.問5	6	1.4		○							
3.問6	10	0.9		○				○			
4	漢 文（文章の読解）	40	15.9	4.問1.a	2	0.2	○				
				4.問1.b	2	0.1	○				
				4.問1.c	2	0.4	○				
				4.問2.X	4	2.3	○				
				4.問2.Y	4	1.9	○				
				4.問3	5	1.9		○			
4.問4	5	2.6	○								
4.問5	7	3.5		○							
4.問6	9	3.0		○							
5	古 文（随筆の読解）	40	11.3	5.問1	2	0.7	○				
				5.問2.X	2	0.4	○				
				5.問2.Y	2	0.6	○				
				5.問3	4	0.7		○			
				5.問4(1)	6	1.9	○				
				5.問4(2)	8	2.8		○			
				5.問5(1)	6	3.7		○			
				5.問5(2)	10	0.5		○			○

学習対策

ここでは教科・科目ごとにポイントとなる問題を取り上げ、その問題の概要と正解を導くために必要な力についてコメントをしています。今後の学習のアドバイス等も記してありますので、自分が受験した教科・科目を確認して復習に役立てましょう。

なお設問別アドバイス、採点基準、学力要素一覧表は、模試ナビ(河合塾 全統模試学習ナビゲーター)に掲載していますので、確認をしてください。

英語

歌って踊れる英語力とは？

第4問 英作文

「基本構文・表現」の定着をはかる問題

皆さんの多くは受験時における共通テスト対策に不安をもっていることだろう。現在のところ出題がリーディングとリスニングの2本立てであることから、その2つに力を入れて勉強することは当然だが、国立大学を始めとした大学別の入試では英語表現としてのライティングの出題も無視できない。実はリーディングの基本構文は、ライティングやスピーキングでの基本構文でもある。

今回の第4問Bでは「…すると言われる」it is [has been] said (that) S do …という表現を出題したが皆さんはクリアできただろうか。また、Cでは文脈に沿った適切な受け答えを考えさせる問題を出題した。答案分析の結果としては、Bではその形式を踏まえて書けている答案は少なかった。また、Cでは相手の表現に同意し、なおかつ今後傘が必要となる状況を記述すると判断し、正確に書けた人はあまり多くはなかった。

英語の4技能は受信型の能力であるリーディング・リスニングと、発信型の能力であるライティング・スピーキングに分かれるが、実は根っこは同じである。音楽で言えば、曲が歌え、譜面が読め、楽器が演奏でき、さらに音曲に合わせて踊れる能力を問うているのだ。ある表現や形をリーディングや文法で学習したら、それを声に出したり、その表現をアレンジして英作文することを行ってほしい。そうするこ

とで、自分の発信力が強化されて行くのだ。

第5問 長文総合問題

英語の語順や形の理解を確認する問題

英語は語順が大切と言われるが、確かに Taro loves Hanako. と Hanako loves Taro. とでは表す内容が違う。loves の代わりに scolded 「…を叱った」を入れてみれば、Taro scolded Hanako. 「タロウはハナコを叱った」と Hanako scolded Taro. 「ハナコはタロウを叱った」の差は一目瞭然になる。誰だって叱られたくはないものである。また、古代エジプトでは、人間が猫を崇拝していたが、猫が人間を崇拝していたわけではない。これが理解できるのに、和訳となると形や語順から意味を判断して訳していない人が多いのだ。

第2回の第5問の下線部(1)では、使役動詞〈make O do〉の形で、〈do〉の場所に〈look like A〉が入り、「SはOをAのように見せる」という和訳になることを理解していない答案がたいへん多かった。また、下線部(6)では〈A are not as detailed as B〉の形で、「AはBほど詳細ではない」という形を踏まえた和訳が出来ていない答案も多かった。出会ったパターンや形式を身につけ、語順や形に注目することで、一つ一つの文の読み取りから、段落全体へ、そして長文全体の文意が正確につかめるようになることに気づいてほしい。

数 学

思考力を養おう！

第2問 [2] (3)

集合と命題

$x \in A$ であることが $x \in B$ であるための必要条件となるような a, b の値の組 (a, b) を求める問題である。「 $x \in A$ であることが $x \in B$ であるための必要条件」ということが、命題「 $x \in B$ ならば $x \in A$ 」が真である、すなわち、「 B が A に含まれる」ということであることをしっかりと捉えてほしい。その上で、整数 a のとり得る値と、集合 B の特徴などから a, b の値を求めていくことになる。ここでは、闇雲に a, b を A, B に代入するのではなく、しっかりと作戦を立てて考えてほしい。

第3問 (3)

2次関数(2次関数とそのグラフ)

放物線 F と折れ線 L の共有点の個数を k の値で分類して求める問題である。まずは k の値に対する F の動きを捉えることが重要である。 F の頂点は $(2k, -4)$ であり、その y 座標が、2点 A, B の y 座標と一致しているから、 F の頂点は、 k の値を増加させると直線 AB 上を x 軸の正方向へ動く。この動きを捉えて、線分 AB 、および線分 AC との共有点の個数がどのように変化していくかを考えればよい。ただし、点 A は片方の線分上の点として考えた場合は、もう一方の線分からは除いて考えることになる。このように、状況をしっかりと捉えながら進めなければならない。

この問題のように、方向性が指示されず「自分で組み立てを考える」問題はこれからも多数出会うことだろう。これらに対処するには、普段から「何故こうするのか」を考えながら解くことが大事である。そういう経験をたくさん積むことによってこれらに対処する力、すなわち思考力が養われることになるはずである。このようなことをしっかりと意識して復習してほしい。

国語

【現代文】

解答に必要な説明要素を、慎重に見極めよう

第二問 問五 記述問題

解答を構成する力を問う問題への対応

第二問、問五の正解答を書くためには、まず傍線部中の「ばつの悪そうな表情(=きまり悪くて恥ずかしそうな表情)」という表現の意味がわかる必要がある。つまり、言葉の知識の応用が求められているのだ。さらに、設問では、この場面で「義父」がそうした「表情になったのはなぜか」が問われている。前の一文から傍線部にかけての箇所には、恵利子がビビを探していると「寝室のベッド上に丸くなっている(ビビの)背中が見え、ちょうどその上に義父が自分の膝掛けをかけてやっているところだった。ふりむき、恵利子と目を合わせた義父」が、「なんともばつの悪そうな表情」を浮かべたと書かれている。ここに注目すると、〈ビビに膝掛けをかけてやっているところを見られてしまったから〉といった解答が想定できるだろう。だが、これだけでは、なぜきまり悪くて恥ずかしいのかがまったくわからない説明になってしまう。そこでさらに注目すべきは、「恵利子と目を合わせた」という事実だ。だがそれでもなお、なぜ恵利子と目が合うと、きまり悪くて恥ずかしいのかがわからない。そこで思い出して欲しいのは、もともと義父は犬嫌いを公言し、恵利子がビビを預かり始めた当初も「猛反対していた」という事実である。その義父が、今はまるで人が変わったようにビビを甘やかしているのだ。その豹変した自分の姿を、猛反対した相手である恵利子に見られてしまったからこそ、「なんともばつの悪い表情」になったのだと考えられるだろう。したがって、この設問に十分に答えるためには、〈犬を預かり始めた恵利子に対して猛反対していた義父が〉、〈犬／ビビを可愛がっている様子〉を、〈当の恵利子に見られてしまったから〉、という3つの要素が不可欠なのである。このように、解答を書く際には、自分の答案が設問の問いかけに対する十分な説明になるかどうかを、慎重に考えながら解答することが大切なのである。

【古文】

用言の活用を正しく理解しよう

第三問 問一 記号選択問題

文法力を問う問題

第三問の問一は動詞の活用について、活用の行と活用の種類、活用形を問う問題だった。

なぜ動詞の活用を学ばなければならないのか。それはひとえに、古文を正しく分析して正しく解釈するためである。

たとえば、「花咲かぬ」と「花咲きぬ」という文の場合、前者は、「咲か」がカ行四段活用の未然形であることから、接続する「ぬ」を打消の助動詞「ず」の連体形と判断して「花が咲かない」と訳す。後者は、「咲き」がカ行四段活用の連用形であることから、接続する「ぬ」を完了の助動詞「ぬ」の連用形と判断して「花が咲いてしまった」と訳す。また、「過ぐなり」と「過ぐるなり」。ガ行上二段活用動詞「過ぐ」の終止形「過ぐ」+伝聞推定の助動詞「なり」、ガ行上二段活用動詞「過ぐ」の連体形「過ぐる」+断定の助動詞「なり」である。前者は「過ぎるようだ・過ぎるそうだ」、後者は「過ぎるのだ」と訳す。「明けば」と「明くれば」はどうだろう。「明く」はカ行下二段活用の動詞であるから、「明け」は未然形、「明くれ」は已然形。未然形に付く「ば」は仮定条件、已然形に付く「ば」は確定条件なので、前者を「明けるならば」、後者を「明けるので・明けると」などと訳す。

このように、動詞の活用の理解がないと助動詞や助詞などを正確に識別できず、正しく現代語訳することができない。つまり、本文の内容を誤読してしまう恐れもあるのである。また、形容詞と形容動詞の活用を正しく理解することも同じく大切である。

「学習の手引き」にある「◇解法のポイント」をよく読んで、学習の手順を確認し、覚えるべきものを覚え、その知識を使いこなせるようになるまで繰り返し演習しよう。教科書などの本文中にある動詞について、一つ一つ活用の種類と活用形を間違えずに答えられるようになるまで練習するとよい。

用言(動詞・形容詞・形容動詞)の活用の正しい理解は、古典文法学習の基礎となるものである。決しておろそかにせず、しっかり習得してほしい。

【漢文】

漢文訓読の基本を固めよう

第四問 問三 書き下し文問題

情報を収集し整理する力を問う問題

今回から漢文の出題が加わったが、ここでは第四問の問三を題材に漢文の学習の仕方についてアドバイスをしておこう。

最初に強調したいのは、漢文学習の中での「書き下し文」の重要性である。そもそも「書き下し文」とは、簡単に言えば、原文を音読するときの読み方を表している。返り点をもとに漢字を読む順をたどり、送り仮名をもとに漢字の読みを確認して、読み方を示すために書き下し文にするのである。古くから漢文学習法の一つに「素読(そどく)」があった。「素読」とは教師の後について生徒が音読することであり、学問の第一歩であった。漢文の学習法が分からない人には、「素読」の代わりに読み仮名のついた「書き下し文」の音読を勧めたい。音読の経験を積むと次第に意味を考える余裕が生まれるのである。さて、問三は送り仮名が省略された傍線部1を「すべて平仮名で書き下し文に改める」という記述式の問題であった。書き下し文の問題では、基本的に述語の読み方が問われていると考えてよい。漢文では主語は省略されることも多いし、複雑な形になることも少ない。そこでまず傍線部に再読文字があるかどうかを重要になる。再読文字は最初の読みが副詞として述語の前にあり、二度目の読みが助動詞などとして述語の末尾にあるようになるからである。本問では再読文字「將」の用法が問われたが、これからは「まず再読文字を探す」ということを心掛けてほしい。覚えておくべき再読文字は九文字程度なので、早めに覚えてしまうとよい。また書き下し文の問題では述語となる動詞・形容詞・形容動詞に正しく送り仮名を施すことも重要である。

再読文字・基本句形・重要語といった項目は問題集などの「書き下し文」のドリル問題をこなしつつ、少しずつ学習していけばよい。また活用語の送り仮名を正しくつけるスキルは古文の古典文法の知識にも大きく関わる。今の時期の漢文学習の上では、音読を繰り返し、述語の中心になる語に注意するというを日頃から心がけてほしい。

「採点に関する問い合わせ」について

このたびは、第2回全統高1模試を受験していただきありがとうございました。
 答案・個人成績表を見直した結果、今回の採点や得点に関して疑問や質問がある場合は、
 以下の手順に従ってお問い合わせください。

①送付先

右の問い合わせ用紙に記入し、13ページに記載されている河合塾の営業部あてに郵送にてお送りください。なお、河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎へご提出ください。

②問い合わせ用紙の記入方法

太枠内をすべて記入してください。問い合わせ内容は記入例を参考に以下の事項を記入してください。

1. 科目名、大問・設問番号
 2. 内容に該当する項目(A～Eの記号を選択)
 3. 問い合わせ内容記入欄に、具体的な内容を補足
- * 科目や項目が複数ある場合は、それぞれについて問題番号と内容を記入してください。
 * なお、志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

③提出していただくもの

1. 「採点に関する問い合わせ用紙」
 (提出前に必要事項にもれがないか、内容が具体的に記入してあるかを再度確認してください。)
 2. 「個人成績表」
 (コピーでもかまいません。)
- * ただし、Web返却対象者は必要ありません。

上記2点を同封し、封筒の表に朱書きにて「第2回全統高1模試 採点に関する問い合わせ用紙在中」と明記してお送りください。

- * 答案については提出不要です。ただし、解答用紙番号をもとに河合塾にて答案データ照合を行いますので、お問い合わせ箇所と内容について、具体的に記入してください。
 (不明点がある場合、確認のためにご連絡する場合があります。)
 なお、お問い合わせ箇所をより正確に指摘するため、答案(コピー)に明示し、添付されてもかまいません。

④送付締切日

10月16日(木)到着分まで受け付けいたします。

⑤返送日

回答は、11月7日(金)頃発送の予定です。

【個人情報の取り扱いについて】

1. 問い合わせ用紙に記入された個人情報は、厳重に取り扱い適正な管理を実施します。
2. 利用目的 ・成績処理および成績返却
 ・個人を特定できない方法による統計資料の作成

「採点に関する問い合わせ用紙」の記入・提出方法についてご不明な点は全統模試サポートセンターへお問い合わせください。

*河合塾生(塾生として申し込んだ高校グリーンコース生)の方は、所属校舎にお問い合わせください。

全統模試サポートセンター(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)
 0120-977-558

*全統模試サポートセンターでは、正確な応対と対応品質向上のため、通話内容を録音させていただきます。

2025年度 第2回全統高1模試 採点に関する問い合わせ用紙

*太枠内をすべてご記入ください。

提出日 月 日

フリガナ氏名			受験会場名		
受験番号			個人成績表の解答用紙番号	—	
高校名	クラス名		クラス番号		
住所(連絡先)	〒 — ※マンション名、部屋番号まで記入してください。 方				
電話番号	() —	携帯電話番号	() —		

*お問い合わせの該当箇所・内容がわかるように、詳細に記入してください。

科目名	大問	設問番号	項目
(例) 数学 口	[5]	[2]	B

- ←該当する項目(A～E)を左に記入してください。
- A: 正答が×になっている。
 - B: 部分点が正しく与えられていない。
 - C: 採点されていない箇所がある。
 - D: 成績表の得点が、答案と異なる。
 - E: その他(下記に具体的に記入してください。)
- *志望校や氏名等、受験届に記入した内容の修正はできません。

【問い合わせ内容記入欄】*上の表に対する補足説明等をできるだけ詳しく記入してください。

(例) 数学 Pの座標が(6, 6)にある確率の説明箇所の部分点が与えられていない。

〔回答欄〕

回答者

受付日	受付者	返却日	返却者

お問い合わせ先一覧

■模試について

- ①個人でお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
②学校を通じてお申し込みの方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-717-558
③河合塾生の方 [高校グリーンコース生専用フリーダイヤル] 0120-751-577

*河合塾全統模試サポートセンター/高校グリーンコース生専用フリーダイヤル(12:00~19:30 日曜、祝日および12/31~1/3は受付を行いません。)

■採点に関する問い合わせ用紙の記入・提出方法について

- ①河合塾生の方 所属校舎
②河合塾生以外の方 河合塾全統模試サポートセンター 0120-977-558
www.kawai-juku.ac.jp/zento/grades/request/



■採点に関する問い合わせ用紙の送付先 受付時間 9:00~17:00 (土日祝休み)

- 北海道営業 〒060-0809 札幌市北区北9条西3-3 (河合塾札幌校内) TEL(011)708-8584
【担当地区:北海道】
- 東北営業 〒980-0014 仙台市青葉区本町2-7-22 (河合塾仙台校自習棟内) TEL(022)215-7581
【担当地区:青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島】
- 関東営業 〒330-0846 さいたま市大宮区大門町3-67-2 (河合塾大宮校内) TEL(048)647-9581
【担当地区:茨城・栃木・群馬・埼玉・新潟・富山・長野】
- 首都圏営業 〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-2 四谷グローバルスタディスクエア6階 TEL(03)6811-5532
【担当地区:千葉・東京・神奈川・山梨】
- 中部営業 〒464-8610 名古屋市中種区今池2-1-10 (河合塾千種校内) TEL(052)735-1511
【担当地区:岐阜・静岡・愛知・三重】
- 近畿営業 〒531-0072 大阪市北区豊崎3-13-1 TEL(06)6372-5731
【担当地区:石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・鳥取・岡山・徳島・香川・高知】
- 中四国営業 〒732-0057 広島市東区二葉の里1-1-50 (河合塾二葉の里オフィス2階) TEL(082)264-4581
【担当地区:島根・広島・山口・愛媛】
- 九州営業 〒810-8619 福岡市中央区渡辺通4-2-11 (河合塾福岡校内) TEL(092)714-5711
【担当地区:福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄】